

広島交響楽団 創立60周年記念

# 広島交響楽団

第432回定期演奏会 大阪公演

圧巻の弾き振り！  
渦巻くブラームス！  
躍動するベートーヴェン！  
シュトイデ×広響10年の集大成！

創立  
60  
周年「**繫ぐ**」



ブラームス(生誕190年)：

**ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77**

Brahms : Violin Concerto in D major Op.77

ベートーヴェン：

**交響曲第7番 イ長調 作品92**

Beethoven : Symphony No.7 in A major Op.92

ヴァイオリン&  
コンサートマスター

**フォルクハルト・  
シュトイデ**

Violin&Concertmaster : Volkhard Steude



2023 **6.11**(日) 14:00開演  
(13:00開場)

**ザ・シンフォニーホール** 全席指定 5,000円(税込)

主催：公益社団法人 広島交響楽協会 / ザ・シンフォニーホール 運営協力：コジマ・コンサートマネジメント

ご予約・お問合せ ■ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

プレイガイド

■ 広島事務局 082-532-3080 (平日9:00~17:20) <http://hirokyo.or.jp> ■ e\*(イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall/> (パソコン・携帯)  
■ ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall/> [Lコード:52843] ■ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード:232-343]

【SNS割引サービス】チケット発売後2023年5月31日(水)までに、当コンサートのことをご自身のFacebook、twitter等でご紹介いただくとチケット料金を1,000円引きいたします。  
広島事務局 (info@hirokyo.or.jp) へ、投稿されたSNSのURL情報を送信後、お電話にてチケットをお申込みください。後日、チケットと振込用紙を郵送にてお届けします。チケットお申し込み後の割引はできません。

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。

チケット発売日

ホール会員先行  
2023年1月26日(木)

一般販売  
2023年2月6日(月)



広島交響楽団 創立60周年記念

# 広島交響楽団

第432回定期演奏会 大阪公演

広島交響楽団(広響)は、中四国地方で最も長い歴史を刻むプロ・オーケストラ。2019年夏にはポーランドの「ショパンと彼のヨーロッパ音楽祭」に招待され、近年は音楽総監督の下野竜也によるチャレンジングなプログラムなどで日本中の音楽ファンから熱い視線が注がれている。

2023年に創立60年を迎えるのを記念して、広響は第432回定期公演(6月定期)を広島と大阪で開催する。24年ぶりのザ・シンフォニーホールでの公演となった2017年以来、広響は定期的にザ・シンフォニーホールで演奏会を行なっている。

祝祭的な公演となる60周年記念のコンサートでは、50周年記念公演と同じく指揮者を置かず、ウィーン・フィルのコンサートマスターで、2016年から広響のミュージックパートナーでもあるフォルクハルト・シュトイデが、コンサートマスターとしてオーケストラをリードする。プログラムは、親しみのある名曲ということで、ベートーヴェンの交響曲のなかでも人気のある第7番をとり上げる。そして生誕190年を迎えるブラームスの《ヴァイオリン協奏曲》では、シュトイデがソリストを務める。この協奏曲での共演は広響の強い希望であったが、彼は指揮者を置かないその演奏のリクエストに慎重であったという。オーケストラのメンバー一人ひとりの強い意志を束ね上げる役割も担う、シュトイデにとっても挑戦的なプログラムであり、同時に広響のメンバーの積極性も見ることができるだろう。

広響とシュトイデがともに歩んできた10年間の成果を、ここ大阪でぜひ聴いていただきたい。

文・道下京子



## ヴァイオリン&コンサートマスター フォルクハルト・シュトイデ

1971年ライプツィヒ生まれ。ベルリン・ハンス・アイスラー音楽大学にてヨアヒム・ショルツとヴェルナー・ショルツ教授の下で学ぶ。1993年グスタフ・マーラー・ユーゲントオーケストラの第1コンサートマスターに就任。1994年ベルリンの大学でディプロム取得の後、ウィーンに移り、アルフレート・シュタール教授の下で更に研鑽を積む。1994年11月ウィーン国立歌劇場管弦楽団のコンサートマスターに弱冠23歳で就任。更に2000年からはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の第一コンサートマスターを務めている。室内楽にも熱心に取り組んでおり、2002年からはウィーン・フィルのメンバーで構成される室内楽アンサンブル、ウィーン・ヴィルトゥオーゼンのコンサートマスターも務めた。また同じく2002年にシュトイデ弦楽四重奏団が結成され、ウィーン楽友協会定期演奏会を開催するほか、ヨーロッパ内及び日本で度々ツアーを行うなど、その活動は非常に注目を集めた。使用楽器は1718年製のアントニウス・ストラディヴァリウスで、オーストリア国立銀行より貸与されている。2016年4月広島交響楽団よりミュージックパートナーに就任。

## 広島交響楽団

国際平和文化都市「広島」を拠点に「Music for Peace ~音楽で平和を~」をテーマに活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに、マルタ・アルゲリッチを平和音楽大使に迎えている。フォルクハルト・シュトイデとは2013年初共演でベートーヴェンの交響曲第8番を指揮者なしで演奏、2016年ミュージックパートナーに就任。これまで指揮者なしの交響曲演奏でベートーヴェンの第5番、第6番、シューベルトの第7番「未完成」、メンデルスゾーン第4番、第3番、モーツァルトの第41番、等を共演し好評を博す。2021年6月定期ではコロナ禍で海外からの演奏家が来日できない中、特別に来日が認められ、共演を果たす。



フォルクハルト・シュトイデ&広響の演奏やザ・シンフォニーホールでの演奏を一部Youtube(広響チャンネル)でも動画でご覧いただけます。

シュトイデ・広響  
ベートーヴェン:  
交響曲第5番「運命」より



シュトイデ・広響  
ベートーヴェン:  
交響曲第6番「田園」より



下野・広響  
ブルックナー:  
交響曲第8番より



下野・広響  
ブルックナー:  
交響曲第4番「ロマンティック」より

